

# 黒田精工株式会社

(証券コード：7726)

## 2024年3月期 決算補足説明資料

### 【目次】

1. 2024年3月期 連結決算概要
2. 2025年3月期 通期連結業績予想・配当予想

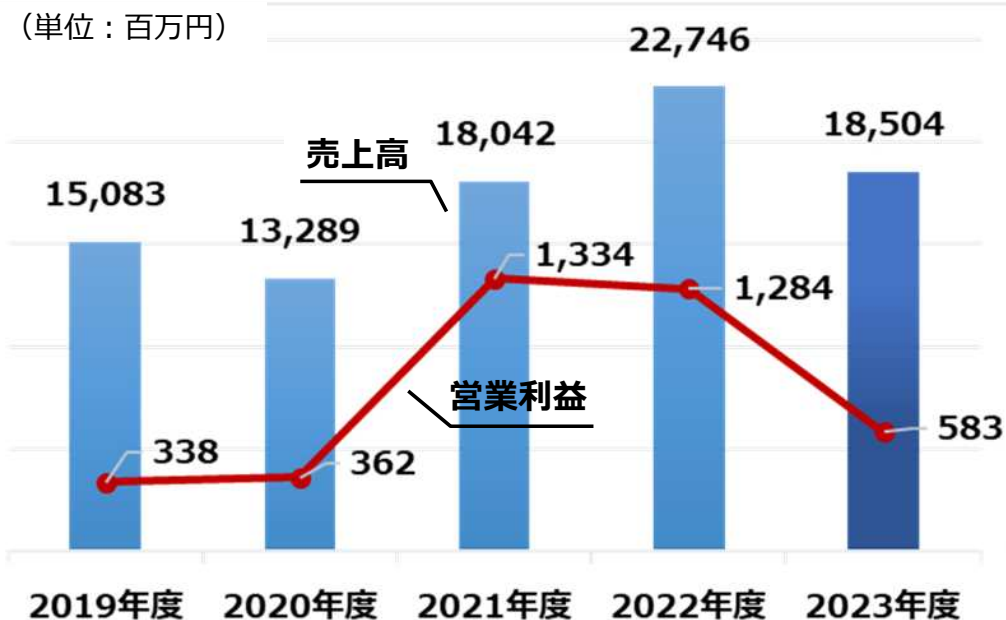
2024年5月14日

# 1. 2024年3月期 連結決算概要

# 2023年度 連結決算概要

(単位：百万円)	前年同期 (2023年3月期)	業績予想 (23年11月10日付)	2023年度 (2024年3月期)	増減 (前年同期比)	増減 (予想比)
受注高	21,958	-	17,265	△4,694	-
売上高	22,746	18,500	18,504	△4,242	+4
営業利益	1,284	450	583	△701	+133
経常利益	1,533	550	844	△689	+294
親会社株主に帰属する 当期純利益	906	350	498	△408	+148

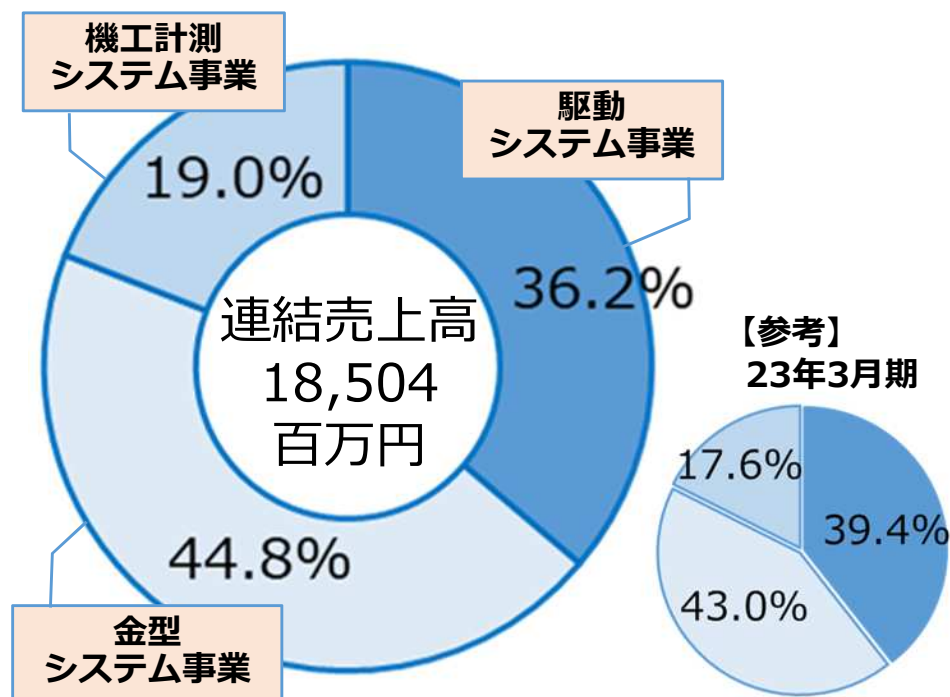
(単位：百万円)



- ◆ 半導体・液晶関連装置市場の低迷が長期化し、駆動システム製品の受注が減少。金型システム事業は車載用モーターコア向け金型の受注が堅調であった一方、プレス製品の大口販売先不振の影響を受けて受注減。機工・計測システム事業についても工作機械や減速機市場の低迷から低水準の受注に。
- ◆ 売上高は受注残に消化に努めたものの、受注減少の影響を受けて減収に。利益面では、売上高減少に加え、ドイツ子会社の業績低迷もあり大幅減益。
- ◆ ドイツ子会社の業績悪化で、のれん減損を計上するも、繰延税金資産の計上で利益面への影響は抑制。

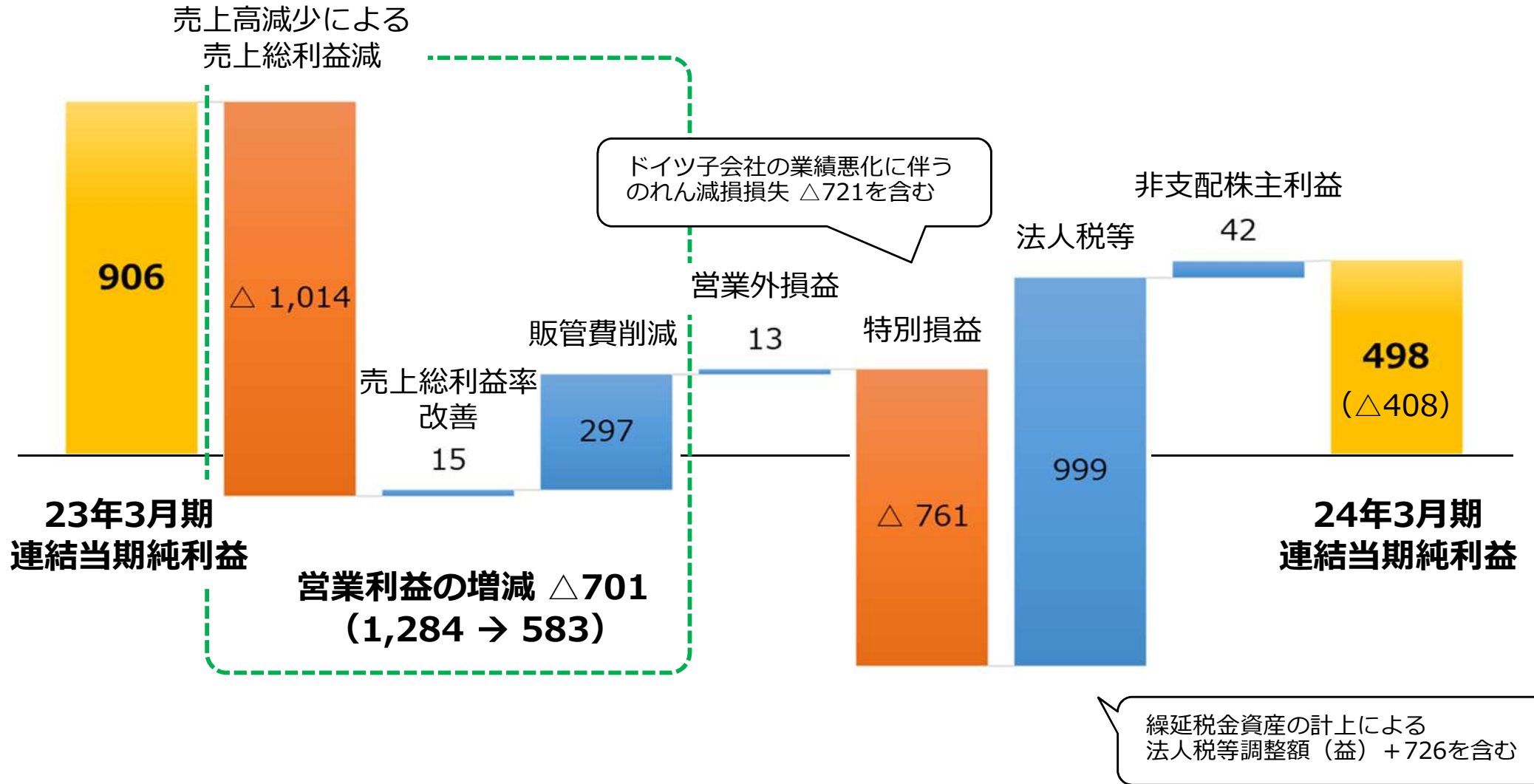
単位：百万円	受注高 (前年同期比増減)	売上高 (前年同期比増減)	営業損益 (前年同期比増減)
駆動システム事業	5,650 (△1,624)	6,711 (△2,254)	△91 (△1,121)
金型システム事業	8,178 (△2,466)	8,300 (△1,498)	765 (+398)
機工計測システム事業	3,434 (△620)	3,527 (△471)	△54 (+27)

- ◆ 駆動：主要顧客の半導体・液晶関連装置向け市場の生産調整が長期化し、受注減少が継続。売上高は受注残を消化しつつも年間を通して回復には至らず。ドイツ子会社の移転に伴う業績低迷を受けて、通期では営業赤字に。
- ◆ 金型：車載用モーターコアは大口販売先の販売不振を受けて受注、売上高ともに減少。モーターコア向けの金型は成長基調を維持。利益面では、売上総利益率の改善、相対的に利益率が高い金型製品の比率上昇によって大幅増益に。
- ◆ 機工計測：工作機械市場全体の低迷と、精密減速機の在庫調整の影響を受けて受注、売上高ともに減少。経費抑制の効果により単体では黒字転換を果たすも、自動車関連商品を手掛ける子会社の業績悪化で連結では赤字に。



(単位: 百万円)

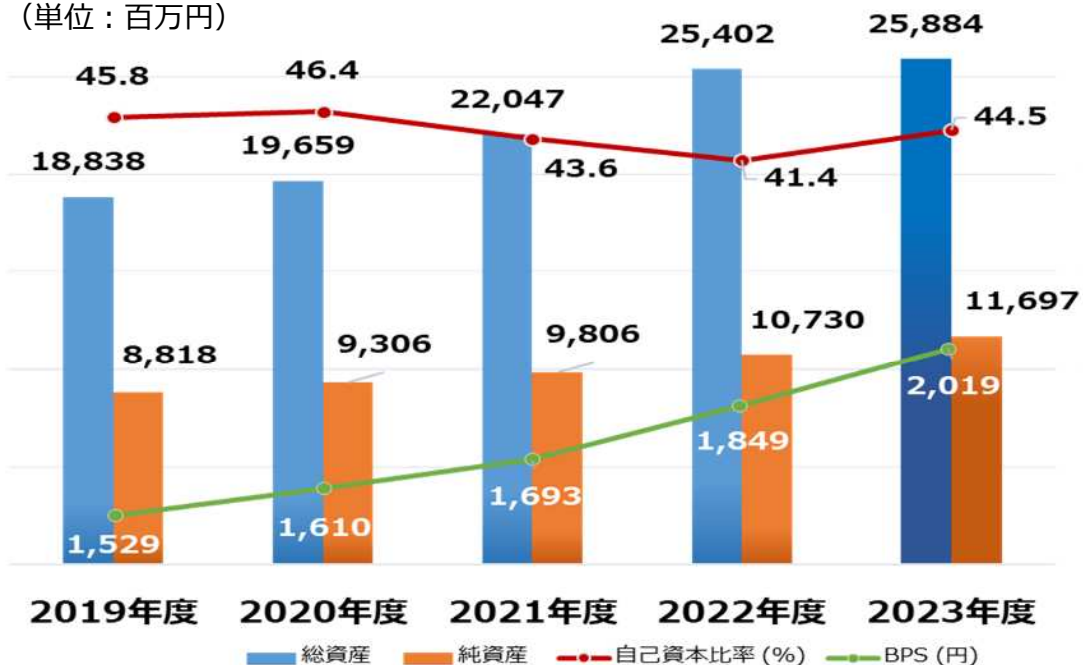
## 前年同期比 連結当期純利益の変動要因



# 連結貸借対照表

	2022年度 (2023年3月期)	2023年度 (2024年3月期)	増減
総資産 (百万円)	25,402	25,884	+481
純資産 (百万円)	10,730	11,697	+967
負債合計額 (百万円)	14,672	14,187	△485
自己資本比率	41.4%	44.5%	+3.1%
1株あたり純資産 (BPS) (円)	1,849	2,019	+169

(単位：百万円)

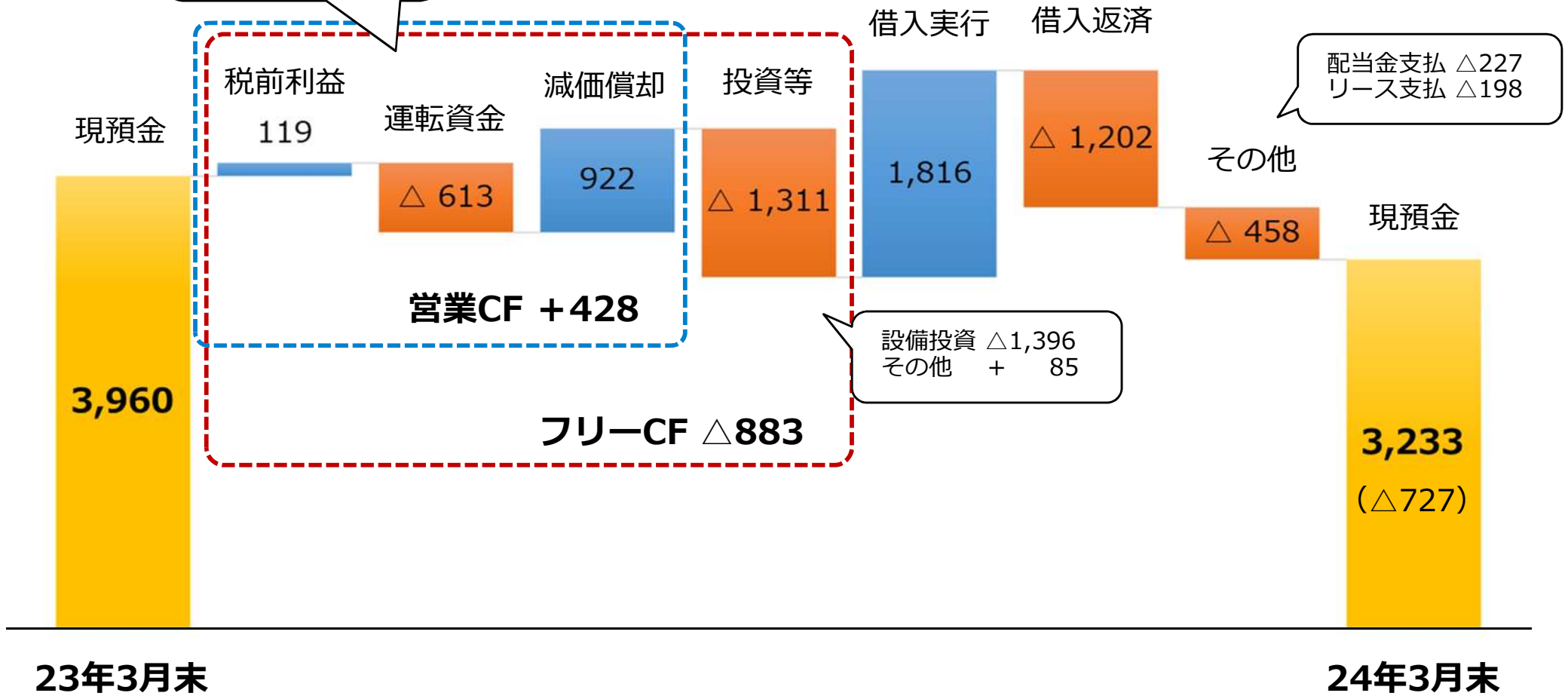


- ◆ 総資産：前年度末比 +481百万円の増加
  - 流動資産 △1,117百万円 (現預金、製品在庫等の減少)
  - 固定資産 +1,599百万円 (建物、投資有価証券等の増加)
- ◆ 純資産：前年度末比 +967百万円の増加
  - その他の包括利益累計額 + 701百万円  
(その他有価証券評価差額金等の増加)
- ◆ 負債合計額：前年度末比 △485百万円の減少
  - 流動負債 △1,439百万円 (仕入債務等の減少等)
  - 固定負債 + 953百万円 (長期借入金、リース等の増加)
- ◆ 自己資本比率：44.5% 前年度末比 +3.1%

## 前年同期比 連結キャッシュフローの変動要因

(単位: 百万円)

売上債権	+	50
棚卸資産	+	152
仕入債務	△	1,512
税務支払	△	586
のれん減損	+	721
その他	+	562



Vision 2025		2024年3月期 連結実績	進捗状況
売上高	168億円～230億円	<b>185億円</b>	○
営業利益率	4%超～8%	<b>3.1%</b>	×
ROE	5%超～10%	<b>4.5%</b>	×
自己資本比率	45%以上	<b>44.5%</b>	×
配当性向	25%～35%	<b>40.0%</b> (配当35円/1株)	○
総投資額	計画期間（5年） 73億円程度の規模	<b>2023年迄の3年間 累積投資額 約44億円</b>	○



## 2. 2025年3月期 通期連結業績予想・配当予想

# 2024年度 通期連結業績/配当予想

注：単位記載の無い項目は百万円単位	2023年度 (2024年3月期)	2024年度 (2025年3月期)	前期比増減率
売上高	18,504	20,000	+ 8.1%
営業利益	583	1,100	+ 88.6%
経常利益	844	1,050	+ 24.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	498	700	+ 40.4%
1株あたり年間配当金（予定額）	35円00銭	38円00銭	—
配当性向（%）	40.0%	30.9%	—

- ◆ 駆動システムは、半導体製造装置市場が夏以降の回復を見込むとともに、ドイツ子会社の業績改善により、増収増益を計画。金型システムは、特定顧客向けの車載用モーターコア製品の生産調整が見込まれるものの、車載用モーターコア向け金型は好調を維持する見通し。また、機工・計測システムも、付加価値の高い新製品開発と海外市場の開拓で黒字転換を目指す。
- ◆ 2024年度の連結業績は、売上高 20,000百万円、営業利益 1,100百万円、経常利益 1,050百万円、親会社株主に帰属する当期純利益700百万円を見込む。
- ◆ 1株あたり年間配当は 38円/株 を予定。

セグメント	見通し、計画
<p>駆動システム事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 主要ターゲットである半導体製造装置市場は、顧客の在庫消化が徐々に進みつつあり、2024年夏以降の需要回復を見込む。2025年にかけて更に需要が拡大する見込み。</li> <li>◆ 半導体市況に左右されない顧客基盤の構築を目指すとともに、顧客の要望に柔軟に対応できる自動化生産ラインの整備を進める計画。同時に、業績低迷が続くドイツ子会社の生産体制の再構築、生産性向上に取り組む。</li> </ul>
<p>金型システム事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ グローバルでEV市場は成長鈍化が見られる一方、HEVへの揺り戻しが見られ、全体的な電動車市場は今後も大きな成長が期待される。車載用モーターコア事業は電動車全体がターゲットであり、成長期待は大きい。</li> <li>◆ 主力の車載用モーターコア金型は、前期に引き続き好調な受注を維持する見込みである一方、L社の生産調整等によりモーターコア製品の売上高は一時的に伸び悩むことが予想される。</li> <li>◆ 前期、長野工場第8工場が竣工し、プレス生産設備の増設工事が完了。今後も車載用モーターコア金型の更なる増産体制構築のため、必要な設備投資を順次実施していく計画。</li> </ul>
<p>機工計測システム事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 工作機械、要素機器ともに需要は緩やかな回復が見込まれ、市場開拓と併せて、受注高および売上高は回復を見込む。</li> <li>◆ 付加価値の高い新製品開発に取り組むとともに、既存製品の販路拡大、特にアジアを中心とした海外市場の開拓に取り組むことで売上高を拡大し、低収益体質からの脱却を目指す。</li> <li>◆ 業績が悪化した自動車関連商品を手掛ける子会社の経営改善も優先課題。</li> </ul>

- 当資料は、投資家の皆さまに黒田精工株式会社への理解を深めて頂く事を目的として、経営や財務に関する情報を提供するものです。
- 当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。
- 当資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠することなく、ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

黒田精工株式会社 経営企画室 IR担当

TEL：044-555-3800

ホームページ：<https://www.kuroda-precision.co.jp>